

# Letter

## No.27

### 雪崩分科会レター

雪崩分科会例会のご案内	1
2000年度事業報告／2001年度事業計画案	2
2000年度会計報告／2001年度予算案	3
3.27左俣谷雪崩災害報告書について	4
2001年度雪氷スペシャルセッション春季大会報告	4
第7回 山岳スキー場雪崩安全セミナーのお知らせ	5
第12回 雪崩対策の基礎技術研修会のお知らせ	6
分科会費納入のお願い	7

2001年9月20日発行

(社)日本雪氷学会雪崩分科会

# 雪崩分科会例会のご案内

## ●例会

雪氷学会全国大会（帯広）期間中に、下記の要領で雪崩分科会例会を開催いたします。是非ご参加下さい。

日時：2001年10月3日（水） 17:10～19:00  
 ポスター発表終了後すぐに集合して下さい

場所：十勝プラザ3F307室

内容：総会

2000年度事業報告／2001年度事業計画案

2000年度会計報告／2001年度予算案

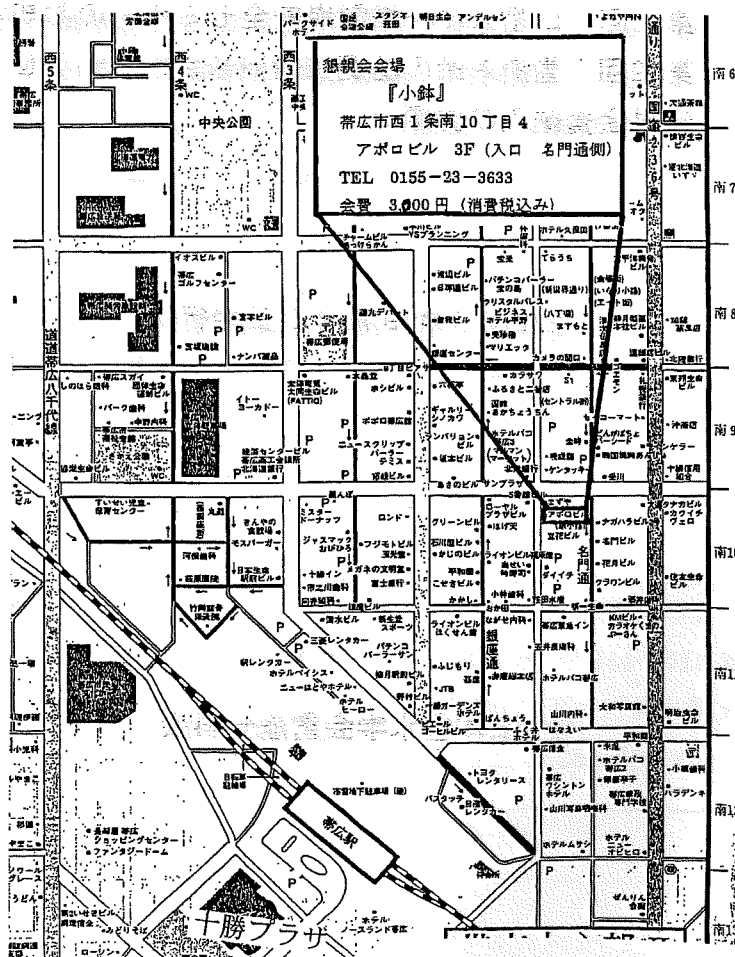
話題提供 最近の北海道の雪崩事故

1. 支笏湖畔雪崩 山田高嗣（北大低温研）
2. 北海道の雪崩 大槻政哉（日本気象協会）
3. 帯広周辺の最近の雪崩 上石 勲（アルゴス）
4. ロシアでの雪崩シンポジウム報告 竹内由香里（土研新潟試験所）

## ●懇親会：19:30～

会場：「小鉢」

帯広市西1条10丁目4 アポロビル3F（入口 名門通側）



# 2000年度活動報告と2001年度活動計画案

## ●2000年度活動報告

### 1. 2000年度雪崩分科会総会

日時：2000年10月3日

加賀市片山津温泉北陸国際ホテル 出席35人

話題提供 1999～2000年に発生した雪崩災害について

長野県小日向山 戸田直人(信州大)

富山県立山連峰 川田邦夫(富山大)

長野県安房峠 竹内由香里(土研新潟試験所)

岐阜県上宝村 中村貞敏(建設省北陸地建)

全体総括 和泉 薫(新潟大)

### 2. ニュースレターの発行 (No. 25、26)

### 3. 雪崩研修会等の開催協力

・第6回山岳スキー場雪崩安全セミナー(主催日本雪氷学会)

・第11回雪崩対策の基礎技術研修会(主催日本雪氷学会)

・第4回日本鋼索交通協会主催雪崩講習会

講師 福山和男(新井リゾート)、町田 誠(町田建設)

元村幸時(白馬コルチナ国際スキー場)

出川あずさ(日本雪崩ネットワーク)、和泉 薫(新潟大)

## ●2001年度活動計画

### 1. 2001年度雪崩分科会総会

全国大会期間中に開催

### 2. ニュースレターの発行 2回

### 3. 全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの主催(雪崩分科会主催)

(開催要綱については別記)

日時：2000年9月30日

場所：札幌

### 4. 第12回雪崩対策の基礎技術研修会の開催協力

日時：2002年1月予定

場所：青森県弘前市

### 5. (財)日本鋼索交通協会主催雪崩講習会の開催協力

日時：2002年 予定

# 2000年度会計報告と2001年度予算案

## 2000年度会計報告

2000.4.1～2001.3.31

	費目	2000年度実績
収 入	繰り越し	592,934
	第11回雪崩対策の基礎技術研修会収支差額	35,560
	本部からの協賛金	50,000
	分科会費	41,500
	利息	338
	計	720,332

	費目	2000年度実績
支 出	全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー補助	100,000
	企画研究補助金	0
	幹事会費用(旅費)2回分	0
	レター印刷費・送料等	33,530
	通信費(支払い手数料)	700
	消耗品・雑費	0
	その他	0
	計	134,230

収支差額(次年度へ繰り越し)

586,102

## 2001年度予算案

2001.4.1～2002.3.31

	費目	2001年度予算案
収 入	繰り越し	586,102
	雪崩対策の基礎技術研修会収支差額	0
	分科会費	50,000
	研修会収入	230,000
	利息	1,000
	計	867,102

	費目	2001年度予算案
支 出	全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー補助	0
	企画研究補助金	50,000
	研修会支出	230,000
	幹事会費用(旅費)2回分	45,000
	レター印刷費・送料等	70,000
	通信費(支払い手数料)	3,000
	消耗品・雑費	7,000
	予備費	415,102
	計	820,102

# 2001年度雪氷スペシャルセッション 春季大会報告

納口恭明

昨年の雪氷学会全国大会の雪崩分科会総会時に報告しましたが、従来、雪氷学会総会時に開催されていた雪氷フォーラムに代わり、今年度は雪崩分科会が幹事となり、下記の通り2001年度雪氷スペシャルセッション春季大会—雪崩—が開催されました。

記

日時：2001年5月30日（水） 午前の部 10:00～12:15  
午後の部 15:00～17:00

場所：日本化学会館7階ホール（東京都千代田区神田駿河台1-5）

発表件数：17件（詳しくは雪氷63巻3号）

参加者数：53名（うち雪氷非会員16名）

本大会は従来雪氷フォーラムにおける講演会形式とは異なり、公募で研究発表を募集したもので、発表概要は雪氷に掲載されました。このため、経費的には通常の学会の経費以外には全く事業費を必要としなかったこともあり、規模の割にはお安く済んだことに対し、研究発表をしてくれた人を始め、参加していただいた皆様、会場係を突発的にしていただいた会員の皆様に感謝いたします。

## 3.27 左俣谷雪崩災害調査報告書

（社）日本雪氷学会 2001年3月）発行のお知らせ

2000年3月27日に岐阜県上宝村左俣谷で大規模な表層雪崩によって、砂防工事中の2名の方が亡くなる災害が発生しました。（社）日本雪氷学会では建設省北陸地方建設局（現 国土交通省北陸地方整備局）の御協力により、その災害についての調査報告書をまとめました。

報告書またはその概要版を入手希望の方は、氏名、所属、連絡先をご記入の上、送料（切手270円分）を添えて雪崩分科会事務局の方にお申し込み下さい。

また、報告書の一部に誤りがありました。お詫びいたします。すでにご入手の方は御確認の上、訂正の程よろしく願いたします。

3.27 左俣谷雪崩災害調査報告書 P.35 8行、P.58 22行

同 概要版 P.6 8行

誤 積雪安定度  $S_1$ （上載荷重によるせん断応力/せん断抵抗力）

正 積雪安定度  $S_1$ （せん断抵抗力/上載荷重によるせん断応力）

3.27左俣谷雪崩災害調査委員会事務局

# 第7回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナー

主催 社団法人日本雪氷学会雪崩分科会

## 開催のお知らせ

雪崩による登山者とボーダー・スキーヤーの死亡事故が全国的に発生しています。雪崩から身を守るという課題は依然として重要であることを感じます。新雪を求めて行動するスキーヤーやボーダーが特に増大していることを重視しなくてはなりません。このセミナーは、専門的な雪崩理論を学ぶ為でなく、雪崩の防止と救助を主眼にし、実践的な取り組みを全国的に交流し、学び合うことを目的に開催するものです。

日時 9月30日(日) 9時00分～16時

会場 ちえりあ(札幌市生涯学習総合センター) 全体会・分科会

札幌市手稲区宮の沢1条1丁目 地下鉄東西線終点宮の沢駅徒歩5分

会費 2,000円

懇親会のお知らせ 29日午後19時よりパラダイスヒュッテ

(北大山小屋 手稲山山麓)を会場に行います。

宿泊 パラダイスヒュッテは宿泊可能ですので早めに申し込んでください。

後援 北海道 札幌市 日本山岳協会 日本勤労者山岳連盟

北海道索道協会 北海道山岳ガイド協会 北海道自然体験学校NEOS

北海道雪崩事故防止研究会 北海道登山者雪崩研究会

### ■全体会(全体報告) 9時00分～12時30分

(1) 北海道の雪崩教育・・・樋口和生(北海道雪崩事故防止研究会)  
(北海道主催のOutdoor Risk Management Seminar)

(2) 北海道警察の雪崩救助への取り組み・・・佐藤隆幸(北海道警察本部)

(3) 札幌市消防局の雪崩救助への取り組み・・・鈴木英昭(札幌市消防局)  
・雪崩遭難救助訓練, 山岳救助隊の発足

(4) ニセコ町の雪崩情報への取り組み・・・逢坂誠二(ニセコ町長)

(5) 全国の雪崩事故報告・・・岐阜県上宝村左俣谷雪崩  
・・・上石 勲(3.27左俣谷雪崩災害調査委員会事務局)

### ■分科会(報告と自由討議) 13時30分～15時30分

(1) RESCUE(レスキュー) 消防、民間救助隊の雪崩救助

・長野県における消防と民間救助隊の連携による雪崩救助

・・・腰原 博(ACT ACE)

・東川町遭対協による旭岳パトロール・・・杉山昌二(北海道東川町遭対協)

・ビーコン, スコップ, ソンデ(ブループ)等雪崩装備の評価

・・・中山建生(全国雪崩講習会代表)

(2) EDUCATION (雪崩教育) 雪崩教育を行う団体の情報交換

—雪崩教育の内容と工夫、めざすもの—

- ・北海道登山者雪崩研究会 . . . . . 松浦孝之
- ・山ボード研究会 . . . . . 高橋玉樹

(3) SAFETY (安全) スキー場の安全管理への取り組みと問題点

—スキーコース外滑走についての現状—

- ・長野のスキー場のコース外滑走について . . . 元村幸時 (HART)
- ・アライのコース外開放、新しいタイプの警告標識など意欲的な取り組み  
. . . 田中 晃 (アライマウンテン&スノーパーク)

札幌開催実行委員会

会長 秋田谷英次 副会長 阿部幹雄 小山健二 事務局長 松浦孝之

◎ お問い合わせ 松浦孝之(事務局)

または 尾関俊浩 (北海道教育大学岩見沢校) まで

雪崩分科会会員の皆様の多数のご参加、ならびに、関係者、関係機関へのご連絡をお願いいたします。

## 第12回 雪崩対策の基礎技術研修会 開催のお知らせ

第12回雪崩対策の基礎技術研修会のパンフレットを同封しました。今回はじめて青森県で開催します。学会員以外の関係者にもお知らせください。申し込み方法などについてはパンフレットをご覧ください。

## 分科会費納入のお知らせ

雪崩分科会では会員の皆様からの会費が、活動を支えています。昨年来、これまでの会費納入状況について不明な方からのお問い合わせもありました。次回レター発行時に、各個人宛に未納分も含めた納入金額をお知らせします。その際にはお忘れの無いように、振込をお願いいたします。

### 雪崩分科会役員

会 長	和泉 薫	(新潟大積雪地域災害研究センター)
副会長		
(学術委員長)	納口恭明	(独立行政法人防災科学技術研究所)
監 事	川田邦夫	(富山大学理学部)
幹事長	上石 勲	((株)アルゴス)
幹 事 (企画)	秋山一弥	(独立法人土木研究所新潟試験所)
幹 事 (企画)	飯田 肇	(立山砂防博物館)
幹 事 (編集)	尾関俊浩	(北海道教育大)
幹 事 (編集)	河島克久	((財)鉄道技術総合研究所)
幹 事 (会計)	小杉健二	(独立行政法人防災科学技術研究所 長岡雪氷防災研究所新庄支所)
幹 事 (企画)	中山建生	(勤労者山岳連盟)
幹 事 (企画)	町田 誠	((株)町田建設)
顧 問	新田隆三	(信州大農学部)

### 雪崩分科会事務局

上石 勲 (かみいしいさお)

(株)アルゴス雪氷技術センター